

上下水道事業経営評価制度等に関する意見

－平成23年度経営評価(平成22年度事業)等について－

京都市上下水道事業経営評価審議委員会

平成24年2月

京都市上下水道事業経営評価審議委員会は、平成23年度に実施された上下水道事業経営評価等を踏まえて、経営評価制度の充実等に向けた検討を行った。

経営評価については、年々改善が図られ充実したものとなっているが、提案した意見については、その趣旨を尊重し、可能な限り改善や工夫を図ることにより、経営評価制度の一層の充実等に向けて努力されたい。

1 上下水道事業経営評価全般について

経営評価を市民など対外的に公表するに当たっては、基本理念や事業の全体計画など、上下水道事業の全体像と合わせて示すことにより、経営評価への理解が深まると考えるが、現行の経営評価冊子にはそうした記載がされていない。基本理念や重点施策等を示した「京（みやこ）の水ビジョン」や中期的に取り組む事業や目標等を示した「中期経営プラン」の内容を掲載するなど、経営評価冊子において上下水道事業の概略が分かるものとなるよう検討されたい。

また、経営評価のうち取組項目評価については、取組項目ごとの単年度の取組目標に対する達成度を評価したものであるが、結果として評価が上位区分に偏っており、とりわけ重点推進施策の評価ではA、Bのみとなっている。これは現行制度に基づく評価としては妥当なものであるが、市民が経営評価に期待するイメージとの間にギャップがあると思われることから、例えば概要版冊子においては、重点推進施策の評価について、A～Eの5段階ではなく、より簡略な記号で示すなど、市民に分かりやすく示す手法を検討されたい。

このほか、経営評価はもとより、上下水道事業についての情報発信が重要であり、例えば、概要版冊子については、重点事業を中心とする構成や絵や図の更なる活用による読みやすさの向上など、より市民が経営評価や上下水道事業に関心が持てるよう工夫に努められたい。また、市民だけでなく、大口需要者である事業者にも目を向けた情報発信を検討し、使用者全体に理解が広がるよう努められたい。

2 取組項目評価の基となる目標水準の客観性及び明瞭性について

取組項目評価の基となる目標水準は、年度ごとに作成される京都市上下水道局事業推進方針に掲げられているが、個々の目標水準においては、目標数値がなく具体性に欠けているものや専門用語の使用により市民にとって分かりにくい表現となっているものも見受けられる。このため、目標水準の設定に当たっては、できる限り数値を用いるとともに、数値になじまないものについては具体的かつ分かりやすい表現に努めることで、客観性、明瞭性を高め、評価に対する市民の納得が得やすい目標水準となるよう取り組まれたい。なお、専門用語については注釈を付記するなどの工夫が望まれる。

3 個々の事業（取組項目）が将来的に目指す目標に対する進捗状況や達成度等の記載について

経営評価における取組項目評価については、取組項目ごとの単年度の目標水準に対する達成度を評価したものであるため、経営評価からは個々の事業（取組項目）が将来的に目指す目標に対する進捗状況や達成度等との関係が分かりにくいものとなっている。例えば、概要版冊子において重点事業や完了間近な事業など市民に特に伝えるべき項目に絞ったうえで、単年度の経営評価に加えて長期的な進捗状況なども含めて記載することにより、事業の全体像が示せるよう検討されたい。

また、重点事業等が達成された結果、市民にどのような影響やメリットがあるのか等を具体的に示すなど、市民にとって経営評価や上下水道事業が更に分かりやすく、身近に感じられる工夫を検討されたい。

4 上下水道局企業改革プログラムについて

上下水道局企業改革プログラムの平成 22 年度取組実績の報告によると、民間企業への派遣研修の実施や、資格取得支援制度の創設等の新たな取組を開始するなど、概ね順調に取り組まれている。

今後とも、効率的な事業運営を図るとともに、継続的に上下水道事業を実施していくための円滑な技術継承や、職員教育などの充実に努め、同プログラムの計画期間も見据えつつ、引き続き目標達成に向けた取組を進められたい。

<審議経過>

開催回	年 月 日	主 な 内 容
第 1 回	平成 23 年 11 月 14 日(月)	・ 上下水道事業に関する報告 ・ 平成 23 年度経営評価に関する報告 ・ 経営評価制度の充実に向けた審議
第 2 回	平成 23 年 12 月 16 日(金)	・ 経営評価制度の充実に向けた審議
第 3 回	平成 24 年 1 月 25 日(水)	・ 経営評価制度の充実に向けた審議 ・ 意見の取りまとめ

<委員名簿>

(五十音順, 敬称略)

氏 名	役 職 等
えちご しんや 越後 信哉	京都大学准教授（大学院工学研究科）
○ にしむら ふみたけ 西村 文武	京都大学准教授（大学院工学研究科）
のがみ みきお 野上 幹夫	社団法人京都工業会理事・事務局長
はやし 林 しげみ	上下水道サポーター※
まえおか てるき 前岡 照紀	税理士
◎ みずたに ふみとし 水谷 文俊	神戸大学教授（大学院経営学研究科）

◎：委員長，○：副委員長

※ 上下水道サポーターは，施設見学やアンケート調査等の活動を行う上下水道モニター（毎年度，市民の皆様から公募。任期は当該年度）として御活動いただいた方のうち，引き続き，上下水道事業に御協力を頂いている方です。